

(福)特別区社会福祉事業団

採用特別号

広報誌

SEED

今日 生きる力を 明日 はばたく勇気を



我々が目指すのは、 《福祉の専門集団》

その領域は

入所施設、通所施設、訪問、アウトリーチ

対象は

子ども、若年者、年長者、高齢者

関連法は

生活保護法、児童福祉法、ホームレス特措法、困難女性支援法…

このような限りなく広いフィールドで、

全ての利用者に「**今日生きる力を 明日はばたく勇気を**」

だからここでの仕事は、

柔軟性としなやかさが、判断力と行動力が、企画力と提案力が、

想像力と創造力が、真面目さとユーモアが、コミュニケーション能力が

つまり、**人間力が問われる。**

その能力は、ここで試せる。

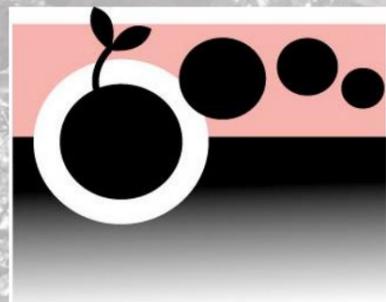
その能力は、ここで活かせる。

その能力は、**AI** に取って代われない。

その能力は、これからだって**身に着けることができる。**

その能力は、ここで身に着けることができる。

その能力で、**23区**の負託に応える。



社会福祉法人
特別区社会福祉事業団

CONTENTS

- P.3 事務局長より
- P.4 事業紹介
- P.6 職員紹介
- P.8 事業団本部紹介
- P.11 福利厚生 制度
- P.14 データでみる事業団

事務局長より

特別区社会福祉事業団を志望する皆さんへ

自身を**生**かす、**活**かす

僕は英語が苦手なのですが、「生活保護」を英語でどうかをネット検索すると [welfare] とか [public assistance] と出てきますね。[assistance] ですと、[support] 的なニュアンスが、[welfare] ですと [safety] なニュアンスがあるような気がします。

さまざまな事情の中で、居場所を見つけられなくなった人たちに、居場所を探すまでの間、安心できるように寄り添い、できる限りのアドバイスを伝えたり、悩みを受け止めたりすることのできる人が、社会には必要だと思うのです。

もしかしたら、「そうなりたいけど、自信がない」と思われるかもしれませんが、でも、最初から 100% でなくてもよいと思います。利用者さんと一緒に歩む中で見つかるものも、たくさんあると思います。そして、職場の仲間と過ごす時間の中で、探していけばいいように思います。

悩んで、笑って、やわらかく、毅然として、自分に嘘をつかないで、程よい距離感をおいおい身に付けていただきたいと思います。

ご自身を生かす、活かす、生活の一部にお仕事があると思いますので、あなたご自身の生活の一部に、ぜひ、私たち特別区社会福祉事業団を加えていただきたいと思います、心から願っております。

社会福祉法人
特別区社会福祉事業団
事務局長

常松 洋介



事業紹介 当法人は長年にわたり福祉施設の運営を中心に事業を展開してきました。その中でも、代表的な4つの種別の施設をご紹介します。

更生施設とは

生活保護法に基づく単身世帯の入所施設です。身体上・精神上の理由で生活支援が必要な生活保護受給者を対象に、地域生活の再スタートに向けた相談・支援を行っています。

主な業務

- ・利用者の相談支援
- ・福祉事務所との連絡
- ・不動産（アパート）の情報提供
- ・病院受診時の調整
- ・施設行事の企画、実施など

運営施設

- 塩崎荘：男性単身/100名
- 本木荘：男性単身/50名
- けやき荘：女性単身/30名
- 淀橋荘：男性単身/70名
- 千駄ヶ谷荘：男性単身/60名
- 新塩崎荘：男性単身/100名
- しのばす荘：男性単身/100名

施設の特徴

他の施設と違い、朝・昼・夕の食事の提供があります。加えて、必要に応じた薬や金銭の管理、通院時の同行など利用者の生活と深く関わる機会が多いです。



宿所提供施設/宿泊所とは

〔宿所提供施設〕

生活保護法に基づく入所施設です。DV や罹災等、様々な理由で住居を失った生活保護を受給する家族・単身世帯を対象に住居を提供し、地域生活の再スタートに向けた相談・支援を行っています。利用期間は原則3か月です。

〔宿泊所〕

社会福祉法に基づく入所施設です。住宅や生活に困っている世帯に対して、低額な使用料で住居を一定期間提供し、住宅の確保や生活の立て直しの相談等の支援を行っています。宿所提供施設との大きな違いは、生活保護を受給していなくても利用できる点です。

施設の特徴

主な利用対象者は、女性単身者、母子・家族などです。また、利用者の方の多くは緊急で住居を必要としているため、利用申し込み当日や翌日での入所がほとんどです。そのため、迅速な対応が求められます。

運営施設

〔宿所提供施設〕

- 西新井栄荘：32世帯 66名
- 淀橋荘：27世帯 42名
- 小豆沢荘：45世帯 85名
- 葛飾荘：40世帯 50名
- 新幸荘：75世帯 134名

〔宿泊所〕

- 綾瀬荘：34世帯 75名
- 千歳荘：34世帯 48名

主な業務

- ・利用者の相談支援
- ・福祉事務所との連絡
- ・不動産（アパート）の情報提供
- ・病院受診時の調整
- ・施設行事の企画、実施など

自立支援センターとは

東京都と23区の協定に基づく入所施設です。仕事と住居を失った方の自立を図るため、健康状態の把握や求職活動のサポートなどの支援を行っています。利用期間は原則6ヶ月です。



主な業務

- ・利用者の相談支援
- ・関係機関との連絡
- ・病院の調整
- ・不動産（アパート）の情報提供
- ・就労支援など

施設の特徴

利用申し込み後すぐに入所するケースが多いため、利用者の状況把握が非常に重要です。また、他施設では、利用者を対象とした行事（散策会やソフトボール会、夏祭り等）がありますが、自立支援センターでは、就労自立に特化したプログラムが主軸となります。

運営施設

- 千代田寮：男性単身
- 緊急一時保護事業：25名
- 自立支援事業：67名
- 支援付地域生活移行事業：8名



母子生活支援施設とは

児童福祉法に基づく入所施設です。18歳未満の子どもを養育する母子世帯を対象に、母と子、それぞれに合わせた生活相談・自立支援を行っています。利用期間は原則2年間です。

施設の特徴

入所理由はDV、経済的困窮、養育困難など多岐にわたります。母子で安定した地域生活の再開のため、そして子どもたちの健やかな成長のため、家庭的な雰囲気での支援をしています。

運営施設

- のぞみ荘：母子(20世帯)
- メゾン・ド・あじさい：母子(10世帯)

私が事業団を選んだ理由

福祉系大学

→2022年入職

早瀬 翼
更生施設 しのぼす荘



入職→退職

→2024年再入職

三井 麻里乃
更生施設 塩崎荘



社会人→学生

→2021年入職

中西 玲
更生施設 新塩崎荘



自衛隊

→2021年入職

石山 雄大
更生施設 淀橋荘



人と深く関わる 仕事に就きたくて。

他業種を経て、 視野が広がりました。

実習がきっかけです。

直接的な支援に やりがいを求めて。

Q1 利用者支援を行っています。主に、施設に入所されている方に対してアパート転宅等に向けた手続き・生活訓練などのお手伝いをしています。利用者の今後の人生に深く関わる業務の為、常に誠実で丁寧かつ迅速な対応を心がけています。また、当法人の広報誌発行にも携わらせていただいています。

Q1 利用者様の相談をお受けしたり、安否確認、行事の企画・開催等様々なことをしております。日々の支援で心がけていることは、『気楽に、些細なことでも相談できる人になる』ということです。日々笑顔での挨拶を心掛け、信頼してもらえるよう頑張っています！

Q1 利用者支援を担当しています。利用者の中には、私より年上で人生経験が豊富な方も多くいらっしゃいます。支援者・利用者という関係ではありますが、人と人として対等に、時には良い意味で上下関係を意識して関わっています。

Q1 利用者支援と経理を担当しています。利用者支援では寄り添うことが基本になります。利用者一人ひとりに合わせて面接相談支援を行っています。経理はお金を管理している為、ミスはできません。繰り返し確認することを心がけています。

Q2 大学では福祉学科に所属していました。大学の求人一覧に当法人の募集要項が掲載されていた為、法人説明会に参加し、採用面接を受けました。学生の頃から、人に対して深く関わる職業に就きたいと考えており、相談業務という「人助け」をしたいとの思いから、入職を決意しました。また、応募要項に「資格不要」の記載があったことも決め手になっています。

Q2 大学卒業後、当法人で働いていましたが、長年にわたって挑戦したいと考えていた夢を諦めることができず、一度退職いたしました。退職後、営業・接客・介護などの複数の仕事に携わったことで複合的な視野を養うことができたと同時に、改めてこれまでの経験を活かし、生活に困窮されている方々への支援のお手伝いがしたいと思い、再び当法人に入職しました。

Q2 高校卒業後、社会人として働いていましたが、福祉の仕事をしたと思い専門学校へ入学しました。漠然と生活困窮の支援に携わりたいと考えていましたが、偶然事業団で実習を受け、入職のきっかけとなりました。ちなみに、福祉事務所のケースワーカーという選択もありましたが、公務員試験に受かる気がしなかったため早々に諦めました。

Q2. 3年間自衛隊にいましたが、人の役に立ちたいと思い事業団に入職しました。採用面接では「人の役に立ちたいなら自衛隊の方が良いのではないかと聞かれましたが、私は「自衛隊も人の役に立つ仕事です。けれど私は間接的支援ではなく直接的支援がしたいです。」と返答しました。結果、無事に採用が決まりました。

Q3 利用者支援については、楽しく、非常にやりがいのある業務だと思います。時には、上手くいかず悩んだりすることもあります。目標を達成できた時の喜びは何事にも代えがたいです。職場の雰囲気は非常に良く、働きやすい環境です。上司や先輩へちょっとした疑問を聞きやすく、分からないままにしていることはありません。また、休み(年休)も取りやすく、それぞれのライフスタイルに合った業務をすることができます。

Q3 入職して約1か月が経ち、まず思ったことは「大変だけど楽しい！」ということです。当施設は様々な経験をされ、色々な課題を抱えている利用者様は少なくありません。支援も人それぞれで、決まった正解がないため失敗することも多くありますが、利用者様が「三井さんいますか？」と相談に来てくださることがとっても嬉しいです。利用者様と何気ない会話をしたり、時には深く語りあったりと毎日楽しいです。

Q3 「事務が多い！」が率直な感想です。記録を書いたり、書類を作成したりと、パソコンとにらめっこする時間は多いです。職員は、福祉職ということもあり穏やかな人柄の人が多いためか、面白い経歴の人も多くいます。また、有給休暇が多くて驚きました。残業も思ったより少なく(全職員の月平均4時間)プライベートの時間はしっかり確保できます。

Q3 正直、安泰の自衛隊から初めての福祉職に飛び込むのは不安でしたが、やりたいことの方が優先だと思い決断しました。ゴリゴリの体育会系から事業団へ。一言で言うと天国です。その理由は、まず職員が温かいです。利用者支援に困ったら職員全体で考えてくれます。利用者支援は思い通りにいかない事もありますが、上手く利用者を支えられ目標達成できた時は利用者と一緒に喜びを分かち合えます。また、利用者と一緒に成長する喜びも感じられます。

Q4 当法人に、新卒で入職して3年目となりますが、自分の能力をフルに活用できる職場だと思います。私自身、学生の頃のボランティア活動を通じて、福祉に興味を持ちました。福祉業界に興味のある方、相談業務未経験の方でも働きやすい環境だと思います！一緒に働ける日を楽しみにしています！

Q4 私は今まで児童・障害・高齢分野様々な職種に携わってきました。福祉は分野で利用者様が決まりますが、当施設は老若男女、多岐の分野の方がいるため支援方法がたくさんあり、施設それぞれの特徴があり面白いと思います。新人向けの研修がたくさんあり、普段は先輩職員がOJTとして育成も行ってくださり、『職員』としてとても大切にしてくださっていることを日々実感しております。福祉の仕事をしてみたい人、したことがある人、全く違う仕事をしていた人、色々な方が働ける法人だと思います。

Q4 福祉の仕事は人と関わる仕事なので「雑談が得意でないといけない」と思われがちですがそんなことはありません。口下手でも、誠意があれば意外と相手に伝わることは多いです。何を隠そう私は雑談がとても苦手です。コミュニケーションに自信がない方でも勇気を出して応募してみてください！

Q4 福祉業界で働いていくのであれば事業団での経験はどこでも役に立ちます。利用者支援だけでなく、様々な事務仕事もありますがWordやExcelも未経験で大丈夫です。仕事を任せてもらえることも多く、働きやすい環境なのは間違いありません。

事業団本部 紹介

当事業団における「経営企画課（法人本部）」（以下、「本部」という。）では、法人の経営に関すること、また各施設や事業の事務の取りまとめ等を行っています。今回は、本部配属の大原さん、清水さん、吉田さんの同世代メンバーにお話を伺い、社会福祉法人の「福祉ではない仕事」について深掘してみました。

本部の 役割 について教えてください。

大原（経理）

法人が適切に経営を進めるように意思決定を行い、各所がスムーズに活動できる機能と考えています。

吉田（人事）

本部の働きによって各施設・事業所の職員がストレスフリーに働くことができれば、質の高い利用者支援に繋がることができるということは意識しています。本部の仕事は直接、利用者と繋がってはいませんが、間接的に利用者に還元することができると考えて仕事に取り組んでいます。

清水（総務）

経営に関する話で「ヒト・モノ・カネ」が重要というフレーズを聞きます。「ヒト=人材」の採用と育成を「人事担当」。「モノ=商品」の購入・その他を「総務担当」。「カネ=資金」の管理を「経理担当」が担っています。本部は利用者支援の最前線である施設・事業所を含めた、法人全体の活動を推進する機能を担っています。本部としての役割を全うすることで、職員の働きやすさや利用者支援に良い影響を与えられているといいなと思って仕事をしています。

みなさんの本部での 担当業務 について教えてください。

大原（経理）

私は経理を担当しています。具体的には、月次決算書（1 か月ごとに行う決算業務）のデータ作成をはじめとする決算に関わる業務を主に行います。その他、予算作成など各種経理関連の業務を行っており、内容は多岐にわたります。課内で助け合いながら仕事を進めていくので、情報共有は常に行い、円滑なコミュニケーションをとりながら仕事を進めるようにしています。

吉田（人事）

人事担当の2年目です。採用と労務管理をメインで行っています。採用については募集要項の作成、各求人媒体への投稿、応募者の選考日の調整、選考時の試験監督など。労務管理については、施設勤怠の総括、労基署への各種届出などです。採用については欠員が生じた事業所の迅速な補充、労務管理については各所からの労務に関する問い合わせに対し、正確な情報をわかりやすく回答できるように心がけています。

清水（総務）

総務を担当しています。業務はいろいろありますが、主には会議体の運営をしています。具体的にはスケジュールの管理、資料のとりまとめ、会場の設営、議事録の作成などです。会議が円滑に進行するために準備を大切にしています。ある会議前に上長が緊張していた時は、リラックスしてもらえよう雑談したこともありました（笑）。

福祉と言えば利用者支援に重点が置かれますが、組織がうまくいかなければ支援を提供すること自体が難しくなってしまいます。より良い支援のために、経営方針の決定や職員の環境を整える「法人本部」の仕事に焦点を当ててご紹介します。

本部で働くことの やりがい ありますか？

大原（経理）

各施設・事業所の経理担当者から質問・相談を受けることがあります。時には、少し考えなければ答えられないこともありますが、一緒に考え、調べることによって解決できた時に喜びや達成感があります。質問・相談を受けることで、逆にこちらが勉強になることが多々あります。

吉田（人事）

本部での取り組みはダイレクトに各事業所に反映されるので、やりがいがあります。不安もありますが…（笑）どんな取り組みでも施設職員に寄り添うことが重要だと考えています。職員の課題を抽出し、その打開策を提示することによって働きやすい職場環境、ひいてはより良い利用者支援に繋がるようにしたいです。

清水（総務）

自分が企画・提案して、実務に反映させるために試行錯誤し、それが達成できたときにやりがいを感じますね。先日は、法人の方針や状況を職員全体で共有するために、所長会の議事録を一般職員にも公開しようとの意見があり、それを形にするために試行錯誤して実現することができました。



大原 亜理沙さん（入職3年目）

本部での事務職として入職



清水 政希さん（入職9年目）

福祉職として入職
[異動履歴]
しのばず荘→本部→本木荘→本部



吉田 真人さん（入職9年目）

福祉職として入職
[異動履歴]
本木荘→千代田寮→本部

職員紹介

福利厚生など

福祉職としてのキャリアを積みたい方が、

本部配属を経験する **メリット** はありますか？

吉田（人事）

以前、施設から施設へ異動になった際、前の施設で良かった取り組みや書類の形式などを、異動先で職員に普及したことがありました。本部にいと、各施設のいいところを全体に普及するという取り組みがよりやりやすいと思います。本部での経験は、これから施設に異動になった際の業務に活かせると感じています。また、本部にいと各施設の所長や係長と話せる機会が多いので、施設運営や利用者支援に関しても学べる機会が多いです。

清水（総務）

本部にいと、さまざまな仕事に携わることができますよね。業務の改善を目的とした各委員会に関わることも多く、専門的なことを学べる機会も多いです。

応募を検討している方へ **メッセージ** をお願いします。

大原（経理）

本部の仕事は「総務」「人事」「経理」と多岐に渡るので慣れるまで大変な分、仕事ができるようになった時の楽しさや達成感も大きいです。現場での利用者支援以外にも、こんな仕事があるんだと知ってもらい、興味を持っていただけると嬉しいです。

吉田（人事）

私自身、前職は自衛官で福祉業界のことは全く知りませんでした。未経験で不安な方もいるかもしれませんが、「困っている人を助けたい」「人のためになりたい」という気持ちさえあれば、安心して応募してほしいということを強調したいです。知識は、後からでもついてきます。より前線で困窮している方の支援をしたいという方のご応募を心よりお待ちしております。

清水（総務）

社会福祉法人ですので、利用者支援を志して応募される人が大半だと思います。本部は事務仕事なので、やりたいこととは違うと思う方も多いかもしれませんが、本部は忙しいですが、楽しいです！業務にアイデアを盛り込んで、試行錯誤して現場に落とし込んでいく過程が楽しいです。自分で自分の仕事を楽しくしていきましょう。利用者支援に関しては、他のページや既刊号の職員が熱く話していますので、是非ともご覧ください。既刊号の送付を希望される場合は、法人本部にご連絡ください。送付させていただきます。

事業団では法令に基づいた各制度に加え、独自の福利厚生を整備しています。以下は代表的なものです。

休暇

年次休暇
夏季休暇
介護休暇
療養休暇
慶弔休暇

婚姻時の休暇を含む

生理休暇 など



金銭給付

結婚祝金
出産祝金
就学祝金
義務教育終了祝金
元気回復補助金

心身の健康維持・回復のために支出した際に給付

災害見舞金
療養見舞金 など



育児

育児休業
産前産後休業
子の看護休暇

母性健康管理の措置

母子健診時の有給休暇

育児時間

有給の時短勤務

育児短時間勤務 など

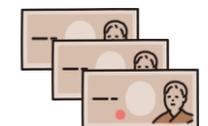
給料調整ありの時短勤務

※他、次ページもご覧ください



その他手当等

住居手当
宿直手当
資格取得助成金
自己啓発支援制度(SDS)
退職金制度 など



育児関連の制度等を利用した職員の声

前ページでは福利厚生などについてご紹介しました。実際に育児休暇等を取得し、子育てと仕事を両立している職員の声をインタビュー形式でご紹介します。

—本日はよろしくお願いいたします。早速ですが、利用された制度について教えてください。

(眞壁) まずは産前産後休業(*1)です。1人目は夏休みと年次休暇を付けて、出産の2か月前から休みに入り、育児休業(*2)をとりました。次に母性健康管理の措置(*3)。これは2つあって、1つは定期的にある妊婦健診の休暇と、もう1つは交通混雑を避けるための1時間の勤務短縮です。それから、子の看護休暇(*4)です。2人なので合計10日間あります。

(室井) 私は産前産後休業(*1)と育児休業(*2)です。子どもが2人いますが、上の子の時だけ育児時間(*5)を取りました。朝45分、夕方45分の1日合計90分を短縮して働きます。休業から復帰して約半年はこの育児時間を使って、自分の働くペースを掴んでいきました。



眞壁 千裕さん (入職 14 年目)

結婚 11 年目で、お子さんは 6 才 (小 1) と 4 才 (年少) とのこと。

—育児から復帰する際、不安はありましたか？

(室井) 朝起きられるか、子育てと仕事を両立できるのか、どんな生活リズムになるのか、子どもを早く寝かせるにはどうしたらいいのかとか…不安でした。まずは食洗機と乾燥機を買いました(笑)

(眞壁) 時短のためにね！

(室井) いろいろ工夫はしました。でも復帰して、保育園から急に呼び出された時や子どものために数日間休まないといけない時も、職場の方は嫌な顔せず「すぐ帰っていいよ」「休んでいいよ」と言ってくださったのが、本当にありがたかったです。

(眞壁) 相談しやすい雰囲気がありますよね。事業団は施設が 23 区に点在しているから、自宅近くにも施設があって、育児明けにその施設に異動できたのは大きかったかな。異動になったことで通勤時間が往復 1 時間半減ったので、時間の不安はなかったです。ただ、育児に入るまでずっと経営企画課(本部)勤務で事務をしていて、復帰後から「初めての子育て」と「初めての施設職員」を両立できるのかという不安はありました。でも、異動先施設のみなさんがおおらか、かつ頼もしく「うまくいかなかったら助けるから、好きにやってみな」と言行一致で助けてくださり、自分のペースで働けたのはすごくありがたかったです。2人目の時は、1人目の時の経験と同僚への信頼感から不安は全くありませんでした。



室井 友紀子さん (入職 10 年目)

結婚 7 年目で、お子さんは 5 才 (年長) と 3 才 (年少) とのこと。

—子育てと仕事の両立については、いかがですか？

(眞壁) 時差出勤がすごく助かっています。我が家は家族全員揃う日が珍しいのですが、夫の帰りが早い時は、あえて私が朝に早く出て、その分、夕方に早く帰ることで、家族団らの時間を作れるようになりました。もちろん、人員配置や業務などの施設の状況もあるので、いつでもできる訳ではないですが。(室井) 時差出勤は、誰でもどんな理由でも使えるからいいですね。

(眞壁) 子どもが小学生になって学校への送り出しを朝 8 時頃にするとなると、少なくとも慣れるまでの間は親が出勤を遅らせるしかないですね。これまでは毎日 1 時間休を取るしかなかったのですが、時差出勤制度ができてからは選択肢が増え、より家庭ごとの状況に対応しやすくなったなど。

(室井) 休暇制度は多いし、取りやすいですね。

(眞壁) 制度が形としてあるだけじゃなくて、きちんと使えます。育児休暇に関しても「男だから取りづらい」という雰囲気もない。男性にこそ、事業団の休暇制度はメリットが大きいと思います。

—最後に、応募を検討している方にメッセージをお願いします。

(室井) 事業団なら、結婚と出産を経ても働き方を変えずに続けられます。キャリアアップを目指す方にとっても環境は整っていると思います。

(眞壁) 実際、事業団内には子育てをしながらキャリアアップされている方が、女性、男性問わず多い印象です。子どもとの時間がなかなか取れなくて、このまま自分は働き続けていいのかな？と悩む時があります。でも、事業団の先輩方が働きながら子育てをされていて、そのお子さん達が立派に社会人になっている「アフターの姿」を見ていると、子どもと過ごす時間の長さより、関わり方の質がより大切だと感じています。事業団の職員には子育てや介護を経験している方が多く、その数だけの経験と知恵と生き方があります。なにげないことも相談しやすいので、安心して来てもらえたらと思います。

育児関連の制度

産前産後休業(*1)

育児休業(*2)

母性健康管理の措置(*3)

子の看護休暇(*4)

育児時間(*5)

妊娠初期休暇

母子保健健診休暇・妊婦通勤時間を含む

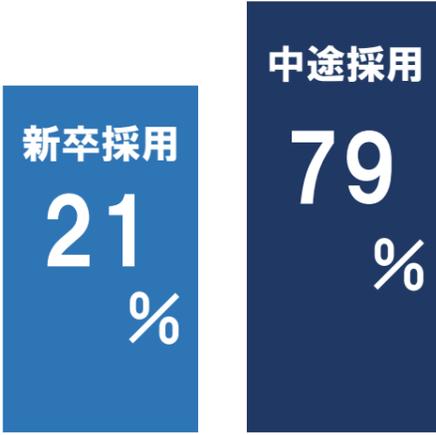
出産支援育児休業

育児短時間勤務

※出産支援育児休業・育児短時間勤務以外は有休利用となります。



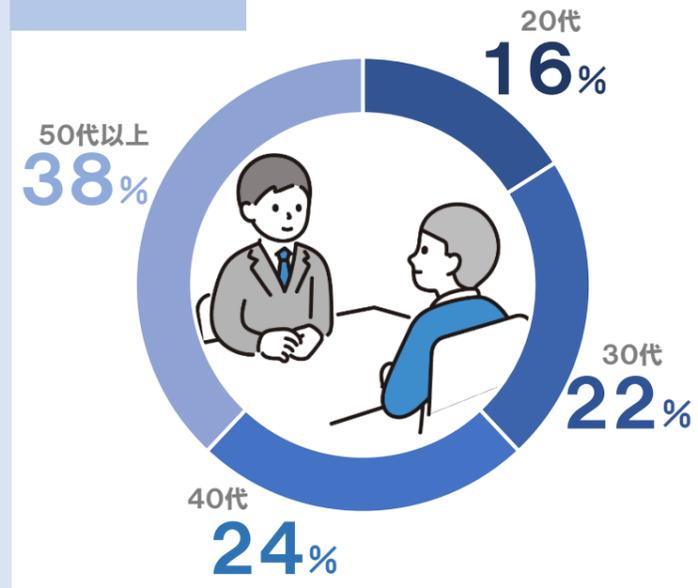
職員に占める中途・新卒比率



男女比率



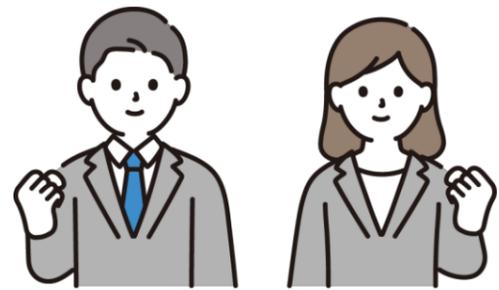
年齢構成



産休・育休取得実績



施設をまたぐ異動者の数



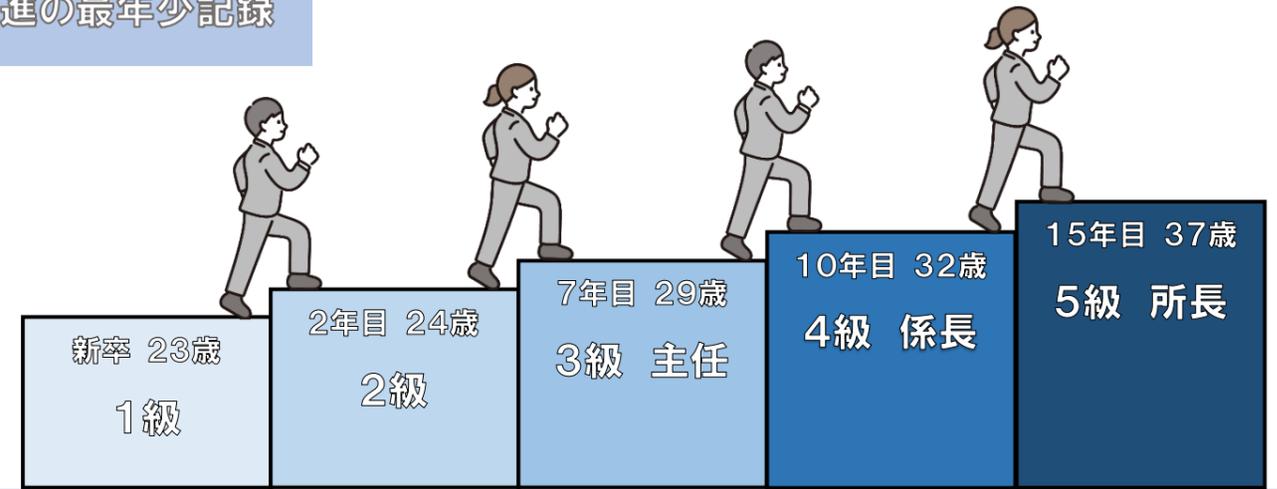
7人に1人

が異動を経験

事業団職員合計 : 267 名 2024年6月現在

23 区内の施設へ

昇進の最年少記録



平均残業時間・年休取得率

平均残業時間 1人あたり/1か月平均

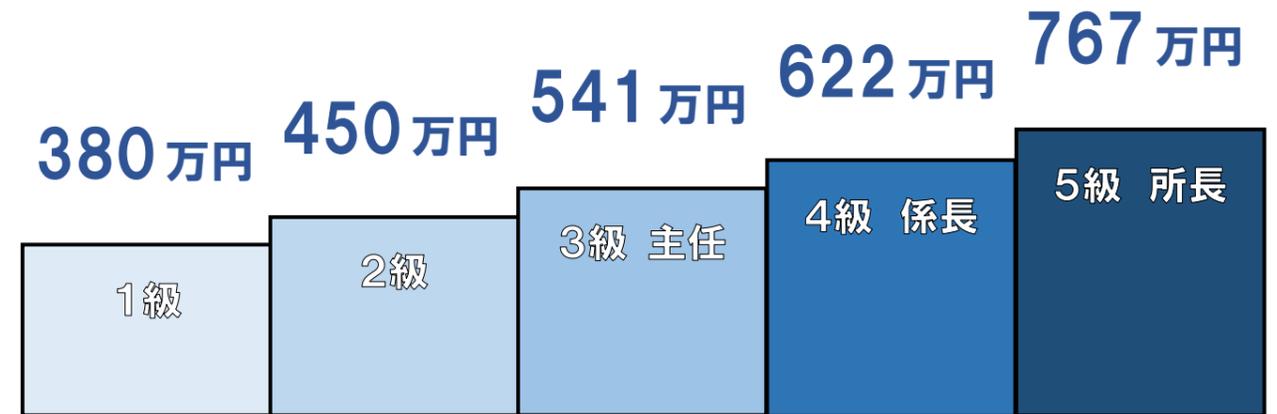
4 時間

年休取得率

86.3%

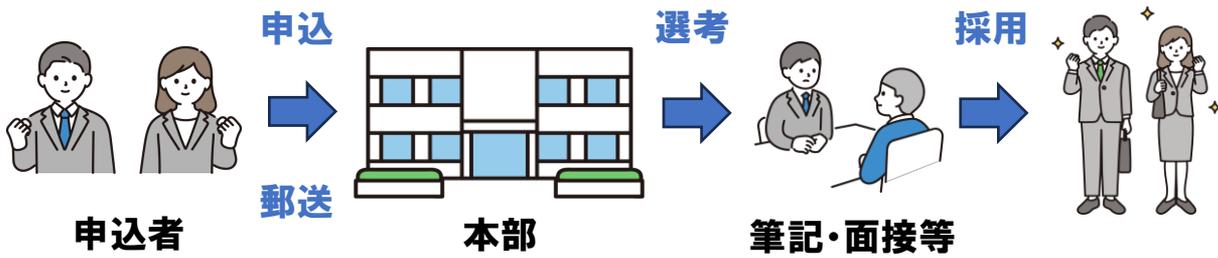
平均取得日数: 15 日

職層別の平均年収





就職を志望される方・検討している方へ



お問い合わせについて

申込先・問い合わせ先につきましては、下記の通りとなっております。

[申込先]

〒135-0043 東京都江東区塩浜 2-5-15
新塩崎荘 2階 経営企画課 古澤・吉田 宛

[問い合わせ先]

経営企画課 古澤・吉田 TEL:03-6666-1046
e-mail: soumu-jinji@blue.ocn.ne.jp

採用情報・募集状況について

最新の採用情報・募集状況については、当事業団 HP をご確認ください。



当法人 HP の QR コードはこちら！

事務局 清水のしょうもない話

乾燥するので、ボディークリームを塗っています。トイレに行った時、ラベンダーの flavor がしました。

広報誌 SEED バックナンバー



創刊号
2023.9.28 発行



12月号
2023.12.20 発行



新年号
2024.2.7 発行



増刊号
2024.3.8 発行

編集後記

今までは特定の施設にフォーカスして、その特長を紹介してきた「広報誌 SEED」ですが、今号は「採用特別号」として求職者の方に向けた内容になっています。法人の概要をコンパクトにまとめた構成になっていますので、求職者の方だけでなく、多くの方に手に取っていただきたいと思っています。また、撮影やインタビューにご協力いただいた方にはこの場をお借りしてお礼を申し上げます。

広報誌発行委員会